

the Lion

2015-2016 VOL.3



世界遺産 反射炉と桜

- 地区ガバナーアピール
- 特色ある例会又は事業実施クラブ紹介
- 事務局便り



ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

ガバナーアピール

GOVERNOR APPEAL

国際会長の 改革への協力



2015/11/04
地区ガバナー
松本 巖

早いもので、あれほど遠かったゴールがかすかに見える地点までたどり着こうとしています。公式訪問から始まり、あわただしい時を過ごしてまいりました。私としては公約したことがまだ実行に移せないことが多いため、内心イライラしています。誰が悪いわけではなく、時間と自分の心のせめぎあいをコントロールできずにイラついているという駄々っ子みみたいな状況です。

これからのライオンズクラブはどのように社会に奉仕をアピールするか。その結果、仲間を増やし、地域に多様な奉仕を提供できるか。その反面、国際協会であるという利点をどのように生かし、有効な大きな奉仕に結び付けるか。今、100周年を目前にして、少ない資源で効率よく世界的な視野での奉仕を考えなくてはいけないという転換期に来ていると思います。

今年度、国際会長は日本から選出されています。そして大きな改革に挑んでいます。12月にOSEALフォーラムがタイのバンコクで開催されました。いくつかのセミナーが企画され出席しましたが、例年になく熱の入ったセミナーでした。

ところが、国際会長はセミナーの開催を10倍くらいに増やして目的を明確にし、討議していきたいとおっしゃっていました。来年は香港と聞いています。さぞやと今から期待しています。

一つ残念だったことは、閉会式の時、最後まで残っていたメンバーが著しく少なかったことでした。グッドスタンディングを要求されているメンバーの集まりとはとても思えなかったことです。今年、334複合地区第62回年次大会が当地区静岡県で開催されます。川勝県知事もご臨席を確約され、ライオンズクラブ国際協会から山田實紘会長のご出席が決定しています。お膝元の開催だから国際会長が出席されるのではなく、その必要性からご出席を決意していただいたのです。その強い思い、強い意志を感じ取ってください。なぜ今改革が必要なのか。これからライオンズクラブはどうあるべきか。そして、地球はライオンズに何を要求しているのか。いろいろなお話を伺えると思います。

今年度の複合地区大会に強い期待とその後の実行の思いを寄せましょう。但し、複合地区大会前に、当地区の第62回年次大会を前哨戦として成功させましょう。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

おー川（豊田川）清掃奉仕活動

1 R 1 Z 浜松東 L C



クラブエリアの中で、地域の皆さんと安心して協働作業の出来る環境を良くするアクティビティを要望してありました処、地域の住民が憩いの場として活用している自然豊かなおー川（豊田川）で、地元の自治会・学校・企業の皆さんと合同で清掃奉仕を行っていることを聞きました。さっそく事業委員会で草刈りのお手伝いをして作業状況を見せて頂き2010年から参加しています。今年度第7回アクティビティとして2016年4月24日（日）に継続事業として開催を予定しています。清掃奉仕には地域の自治会連合会、中学・高校生、ボーイ・ガールスカウト、東区役所、桜の水辺の会の皆さんとおー川南北760mの両側と川周辺の草刈りとごみ拾いの協働作業を実施しています。作業区分を10区域に分け作業人数を区分に応じた配分をして早朝7時集合、9時には閉会式を行い解散しますので、作業時間は約1時間30分で刈り取った雑草の袋詰め作業を終了出来る様にしています。

おー川周辺の雑草は、4月に入り膝くらいまで急速に伸びる為、草刈りにはクラブ会員や草刈り作業員の協力により草刈り機を使い早い時間から作業を進行していますので、袋詰め作業は中学・高校生やボーイ・ガールスカウトの皆さんで担当しています。参加人数と地域の自治会や学校関係者のご理解と協力を頂き年々増加をして前回は300名近い参加がありました。広い作業範囲ですが、参加者全員で分担された区域を一斉に作業を致しますと約1時間で気持ち良く散歩やウォーキングの出来る環境の良いきれいな公園になります。豊かな環境を保つためには、一年を通じて地域の皆さんで川の清掃、草刈り等の活動を行い環境が保たれています。浜松東ライオンズクラブは、地域の住民や奉仕団体と住みよい環境と健全な青少年育成の為、今迄以上に地域の皆さんと協働作業でいろいろな奉仕活動に取り組んで行きたいと願っています。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

天竜川クリーン作戦

1 R 2 Z 豊田 L C



豊田ライオンズを設立して間もない頃は、日本は経済成長期にあった。その為、外国人の労働者が、浜松市や当地域にも大量に居住して行った。

生活環境が激変して、土日ともなれば、外国人パワーで、天竜川河原の国道一号線鉄橋下は空前の屋外パーティーとなって、飲む、歌う、音響は激しく、その上にゴミは捨て放題。

環境破壊される一級河川の悪影響は、やがて大海汚染、飲料水、農業用水、工業用水の汚濁化で、大変だとライオンズの仲間から天竜川クリーン作戦をと提案された。国土交通省の天竜川河川事務所と協議して、クリーン作戦は展開された。

仲間を増やそうと、商工会、そして農協、さらには、ボーイスカウトと仲間を増加させたが、多い年は900人を越えた年もあった。最近の人数は半減されているが、親子連れも目立つ。

ゴミ拾い風景は、教育環境にも素晴らしいものだと満足しています。

大人の捨てたゴミを子供が拾う。川にゴミを捨てに来る大人には是非この姿を見てほしい。多いときは10トンほどあったゴミも、数人のグループで、早朝の6時頃から、30分程で拾われる姿も見られ、ゴミ減少化傾向になっている。

平成14年7月24日付をもって、国土交通省、中部地方整備局長より、天竜川一級河川の美化、愛護に多大な貢献をしたとして感謝状が贈られています。

このように表彰されるのは嬉しい限りですが、子供達が拾う姿が早く消える時代がきてほしいと念願しています。

クラブが用意するもの

PRポスター	250枚
軍手	500人分
ゴミ袋	1,000枚
ゴミ拾い用具	500人分

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

会員の健康管理を大切に！ 糖尿病予防に関する講演を聴講

1 R 3 Z 湖西LC



わがクラブは年々平均年齢が高まる傾向にあることから、健康管理に十分注意して「さらに元気になろう」との意図のもと、計画委員会が企画し、糖尿病の予防につなげるため開催したのが、糖尿病に関する3回の聴講例会である。講師には市立湖西病院から看護師、管理栄養士、薬剤師をお招きし指導の講話をして頂いた。

◇1回目：糖尿病について（11月）

糖尿病を取り巻く現状について、世界の状況と日本の状況の説明。次いで糖尿病とはどのような病気なのか、糖尿病の治療や合併症の予防などについて話があった。

◇2回目：健康寿命を延ばす食生活について（12月）

日本人の食生活の現状、糖尿病の食事療法はなぜ行うのか。また食事療法のポイントなどについて学びました。

◇3回目：糖尿病のお薬について（1月）

糖尿病にはどんな治療がよいのか、薬物療法の効果と飲み薬の特徴。インスリン療法、低血糖とは何か、などについて話があった。

3回の講師例会においては、スクリーンに映し出された映像を見ながら説明を聞き、自分の健康状態はどうか？ 何を食べれば体に良いのか？ 日常生活でどのようなことを心がければ良いのか？など、メンバーの関心度も高く、熱心に聞き入った効果的な例会となった。

何と云っても、出席率が上がり会員同士のコミュニケーションも図り、例会に出席しやすい場づくりにもなった。今や「健康管理」は若手メンバーだから関心がないとは言えない時代。若年も老年も共に大きな関心を持っている。だからこそ、自己の健康についての講演は、会員にとって大変有意義な例会となったのではないかと確信しました。

今後も、楽しい例会への道しるべを考案しつつ会員増強にも努め、邁進していきたいと思います。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

市民の期待が大きい恒例事業

1 R 4 Z 菊川 L C



菊川ライオンズクラブ（三浦實会長はじめ25人）では、特に、青少年健全育成事業を大切に行っている。その一つが、小学生・高校生の野球への支援である。今では、楽しみな恒例行事となっており、野球ファンを初めとする多くの市民がリピーターとなり、それに選手の保護者等を加え、毎年盛況である。一時、子どもたちの関心はサッカーに向かい、少子化もあって、野球人口が減少する傾向があった。しかし野球に対する思いは深く、高校野球の活躍もあって、再び野球熱が復活してきているように感じる。その一助に我々の事業が貢献しているのではないかと自負している。菊川ライオンズクラブでは、青少年が、野球を通じて、思いやり、寛容、協力、忍耐、健康等といった社会生活に大切な、知・徳・体について学んでほしいと期待している。菊川市内には、私立2校（常葉菊川、菊川南陵）、公立1校（小笠）がある。毎年5月に、3校による対抗戦をライオンズクラブ（小笠ラ

イオンズクラブと共催）が主催し実施している。場所は、菊川市営の菊川運動公園野球場である。試合は、総当たり戦で、9回で終了、同点の場合、9人によるトスで勝敗を決める。1勝1敗の場合は失点数で順位を決定する等、独特のルールを定めている。スタンドは、保護者を中心に応援が盛り上がり、ミ二甲子園と化す。最近は鳴り物や楽器も加わった。勝者、優秀選手には記念品も用意する。優秀選手は監督に推薦してもらい、勝利チームが最優秀選手となる。この対抗戦を計画するにあたり、日程、会場手配、試合ボールや記念品手配等、関係者との調整は結構神経を使う。しかし、この事業が市民の楽しみとして定着し、何より市内の野球を愛する青少年に歓迎されているとの実感があり、これからも続けていきたいと思う。なお、スポ少大会は、今年で41回を数え、県下から30数チームが、7会場、3日間にわたり熱戦を繰り広げ、これをクラブが後援している。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

安倍川の上流の子供たちに 駿河湾の豊かさを伝えよう

2 R 1 Z 静岡芙蓉LC



静岡芙蓉ライオンズクラブの本年度の会長スローガンは、「安倍川から地球環境を考え行動しよう」です。

日本一深い駿河湾には、富士山の雪解け水や、南アルプスからの山の栄養が豊富に注ぎ込まれています。エサとなるプランクトンに恵まれた環境で育った為、生き物が豊富で日本の魚類の4割に当たる1000種類が生息していると言われています。

特に地元用宗で漁獲される「しらす」は、漁場が漁港から近い為、入網と同時に砕氷によって締められ、用宗漁港に水揚げされると同時に、素早く競りに掛けられ、直ぐ釜茹でされます。この様な静岡の特産の一つ「しらす」を中心にした海の仕事を、安倍川の上流にある足久保小学校の5年生に学んで貰おうと、10月22日(木)に「漁業体験学習」を企画しました。

午前中は次から次へと続くしらすの水揚げと競りを見学。その後39名全員が一人一人「しらすの豊み干し」作りに挑戦。

しらすを木枠の中に均等に並べるのに苦労しながらも真剣な顔で取り組んでいました。昼食後は体験乗船です。最初は怖がっていた生徒も居ましたが直ぐに楽しかった様子でした。普段山間地で生活している子供たちには、沖合3キロの乗船は貴重な体験だったと思われます。

今期のアクティビティは、山間部の子供たちが自分の住んで居る近くの川から沢山の栄養が海に注ぎ、やがてそれが素晴らしい海の幸と成っている事を海の仕事を学ぶ事により実感して貰えればと思い企画しました。後日生徒から乗船の楽しさと、たたみ干し作りに対する感謝の感想文が届きました。

これからもこのアクティビティを継続する事で一人でも多くの子供たちに漁業体験をして貰い、「楽しみ乍ら山と川と海の環境の大切さ」をメンバーと共に考えて行きたいと思います。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

みどりの絆パーク収穫祭

2 R 2 Z 蒲原 L C



旧蒲原警察署、現在の清水警察署蒲原分庁舎西側の道を登って行くと、中尾羽根親水公園のすぐ上約400坪程のみどりの絆パークがあります。農地を借りて、さつまいも、山芋、栗、ヤーコンを作っており、11月には、さつまいもの収穫祭を行っています。

4年前、アクティビティの一環として構想し、開拓を始めた我々を待っていたのは、水はけが悪く、粘土質の土壌でした。肥料を撒き、耕運機で土と馴染ませ、均してその日は活動終了、後日見に行くと雨が続いたこともあり水浸しでぐちゃぐちゃになった農地でした。晴天を待ちより深く掘るためショベルカーを用意し掘り始めた所、今度は岩盤のような岩だらけの層でした。なんとか作物を植えられるギリギリの深さにして、いよいよ作付けです。肥料が馴染んだ頃あいでも下見に行くと肥料が良すぎたのか一面みどりの海、雑草です。何時間もかけ草刈をしやっと植えることが出来ました。それからは年に3回は草刈をしないと大変な事になります。

翌年2月、いもの収穫祭を開催しました。地域の小学校に挨拶に行き案内を渡して歩き当日を向かえました。雨です！仕方なく予備日の翌日に開催しました。他の行事と重なっていた為多数の参加は望めませんでした。投げ餅、豚汁、お菓子のおみやげも用意し、焼き芋の準備もして待っていました。困ったなと思っていたところ、60人程の家族、ご近所さんが集まってくれました。

さつまいもの収穫を終え公園へ移動。セレモニーの開催です。餅を投げ、豚汁を振る舞い、焼きたてのやきいもを分けセレモニーが終了、収穫したさつまいもを持ち帰った子供たちは大喜びでした。

みどりの絆パークのコンセプトは、近隣の子供たちに作物の成長する過程をみてもらい食べ物の大切さ、また、家族で参加して絆を深めてもらう事です。家族で草刈、作付け、収穫まで楽しく過ごして欲しいからです。

みどりの絆パークの維持は大変です、メンバーの協力無しには出来ません、蒲原ライオンズクラブのメイン事業として今後も継続して行くつもりです。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

「いのちってすばらしい!!」 榛南ライオンズクラブ創立45周年記念事業

2 R 3 Z 榛南LC



9月27日(日)に創立45周年記念事業としまして、牧之原市史料館にて助産師さんをお招きし「いのちってすばらしい」の視聴題を元に講演を開きました。

最初は、足並みが揃わず視聴人数も心配されましたが、講演が始まると同時に会場はほぼ満席になりました。

各ご家族もそれぞれ悩み、子育ての不安等を持っているとお聞きしました。お招きした助産師さんの講演は、ただの性教育ではなく生きていくうえで大切な自尊感情を育てることができる生きる教育(生教育)でした。

「いのちの尊さ」「思いやり」「感謝の心」が子供たちに素直に受け入れられ、青少年健全育成となり、有意義なお話でした。

榛南ライオンズクラブでは、いのちの話講座を3年前から年2回開催していますが、今後とも、皆様のご要望にお応えして長く続けていきたいと思っております。皆様のご意見、ご協力をお願い致します。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

芝のピッチで少年サッカー大会

2 R 4 Z 静岡けやき L C

けやきライオンズクラブのみねさん。
金メダルとトロフィーをもらえて
すごくうれしかったです。
ぼくたちの宝物のになりました。
ありがとうございました。



これからもみんなで力を合わせてがんばります！！



昨年2015年9月に静岡市立藁科中学校グラウンドにおいて「第1回静岡けやきLC杯少年サッカー大会」が開催された。当クラブの今年度事業です。

8チーム参加の小さな大会でしたが、試合後の選手たちの感想は熱烈でした。

メダルを手にした感動とヤル気に満ちたお礼のハガキを何通も頂きました。

少年たちの熱意が私たちにも波及し、新春にはすでにあつた少年サッカー大会を新たにサポートすることになりました。

今回は、長野県諏訪・神奈川県足柄・浜松・掛川・藤枝・沼津など遠方からの参加チームが多く、1月23日・24日と2日間にわたり大会が行われる予定です。

今後は当クラブの継続事業として期待されるどころです。

さて、少年サッカーを応援するには、いきさつがあります。

2009年に市立藁科中学校の当時の校長先生とご縁があり「はだして駆け回ることができる芝生の校庭はできないものか」の相談があり、当クラブの事業として応援することになりました。

芝の苗・肥料・芝刈り機の贈呈。学生と一緒に植え付けました。3年の手入れの後はずばらしい緑のグラウンドが完成しました。

今、豊かなピッチとして多くの少年少女の夢を育てています。

過去の事業が将来の事業に受け継がれているのは嬉しいことです。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

沼津香陵LCの献血活動

3 R 1 Z 沼津香陵LC



今年沼津香陵LCはCN40周年を迎え記念式典を3月27日(日)に行うことになっています。その記念事業の1つに本年は献血活動を5回開催の方針です。我がクラブは334C地区の献血ポイント数では第3位の位置づけで頑張っています。チャーターメンバー5名の先輩達が当初は1年間に12回の献血活動に邁進してきた記録も残されています。現在の若い人たちも先輩が残してきた功績を継承して地域の為になる献血活動をさらに推進して参ります。昨年より原地区の「カインズホーム沼津店」を我が沼津香陵LCの献血ホームグラウンドとして、地域の皆さんに親しまれる活動を継続します。過去には地元連合自治会と地域の子供達の応援を得て協力し合いながら活動しました。東部地区では県立がんセンターがあり手術が多いので血液が足りないの、各クラブが年最低2回行えば年間目標の採血量が確保できるそうです。地区委員の指導の下、各クラブも地域の奉仕の精神を養って欲しいと願います。我がクラブでは自治会への声掛けと沼津市ガールスカウト協議会・沼津市

少年サッカー協会の父兄の方々に支援をお願いしています。本年第1回ではガールスカウトの子供達と共に献血呼びかけをしました。子供達と共に活動することが献血の意義を伝えるには重要だと思います。若い20代から40代が献血してくれる人が少ないと言われているので今後も子供達と共に取り組んでいきます。献血では安全性の高い血液を確保する為にすべての血液に対して肝炎・エイズウイルス等の厳しいチェックを行っていますが、輸血副作用を軽減する為に400ml献血を柱としていますが、献血活動に協力的な人は体重ぎりぎりでも献血に出向いて200mlをしてくれます。将来的には一般献血より負担の掛からない成分献血が受けられるようにバスを改造して新しい取り組みを目指す必要があります。早期に関係者に無理のない献血活動が出来るように努めて頂きたい。最後に身近な金銭が発生しない簡単な奉仕である献血活動を334C地区の力で大きな波を起こそうではありませんか。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

結成25周年 特別記念講演

3 R 2 Z 富士マウントLC



富士マウントLCは、本年結成25周年を迎えるに当たり、実行委員会事業部に於いて、特別記念講演を行うこととなりました。

結成2年目より、スポーツに於いて、富士市内より全国に向けて活躍する中学生を応援する、「富士市中学校全国大会出場優秀選手表彰式」を、3月の卒業時期に開催。

最近では、助産師さんを講師に、富士市内小学校を対象に「いのちの授業」を年間15校開催。子供たちにいのちの大切さを伝えています。これらを踏まえ、青少年に係わるテーマに、講師の選定に入り、「坪田信貴」氏の活躍を知り、講師を依頼致しました。

坪田氏は、「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて、慶應大学に現役合格した話」書籍で累計100万部発行で有名になり、映画化もされ、メディアへの露出度も高く、親子で関心の持てる講師でした。

講演テーマに、「子供の底力を圧倒的に引き出す5つのポイント」と題して、勉強の

取り組み方、集中力のつけ方、親の心構え、精神的なプレッシャーや不安、劣等等の払拭の仕方を塾講師の立場から解説して頂き、分かり易く、時にユーモアを交えてご講演頂きました。

動員についても、富士市PTA連絡協議会、静岡県公立高等学校PTA連絡協議会の富士・富士宮地区高等学校のPTA会長連絡会で、積極的に集客頂き、富士マウントLCメンバーの持分のチケットを譲らなくてはならない程の状況でした。

一番心配したのは、チケットが、無料の為、当日の都合で見えられない方が多いのでは無いかという懸念でしたが、講演への関心の高さだと思いましたが、7割り方満席となりました。通常は、席数の20-30%余分に配布する所ですが、混乱を避ける為、100%配布としたことが、結果良かったと思います。

今後も、地域の青少年を見守り、育てる事業に力を入れていく所存です。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

小山LCと献眼運動

3 R 3 Z 小山LC



小山LCの献眼運動への取り組みは、クラブ結成5周年を契機に「献眼運動こそが私たちクラブにとって最高の奉仕活動である」との決意から1970年にスタートしました。

それから45年が経過し、現在の献眼者数は1,600人にも届くという「日本一の献眼の町」として国内外に知れ渡るところとなりました。

2014年にクラブ結成50周年記念事業のひとつとして、献眼者1,500霊の遺徳を偲ぶ会（慰霊祭）を挙行了ことがクラブの大きな節目となった気がします。改めて町民の皆様のご協力や関係機関のご支援、そして先輩ライオンの地道な努力が実を結んだことにメンバー一同感謝の念を強く抱きました。

献眼運動について私たちクラブでは、アイバンク委員長を中心にメンバーが4班に分かれ当番制で対応しています。各班の責任者は、2か月若しくは10人終了するまで献眼専用の電話を預かり、献眼のお申し出を受けて大学病院への医師手配や献眼者宅への案内、

更にはメンバーや関係機関への連絡や依頼など万全の体制で対応します。

昨年度は、78名という本当に多くの献眼のお申し出をいただき、一日に2名とか24時間内に3名ということもありました。大方は、2か月を待たずして次ぎの班へ当番を引き継ぐということの連続でした。又御遺族におかれても、半年もしない内に再度ご家族の献眼をお申し出てくださいることもあり、改めて感謝の念を強くしたところです。

昨年12月13日の小山町社会福祉大会における厚生労働大臣感謝状伝達及び静岡県アイバンク理事長の感謝状の贈呈式では、献眼者78名のお名前をお呼びして、感謝状・記念品等を贈呈しました。会場を埋めた大勢の町民からは感謝の拍手をいただき、「献眼のまち小山、献眼といえば小山ライオンズクラブ」というPRができたと思います。

これからも地域に根ざした社会奉仕をモットーにメンバー一同精進していきます。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

環境保全アクティビティ

3 R 4 Z 富士宮芙蓉LC



クラブ名「富士宮芙蓉」は、一昨年、世界文化遺産に認定された富士山の形容「芙蓉の峰」から名を頂いた地元のクラブであるとの自覚から常に芙蓉の峰を視野に入れた環境保全を推進しております。

1992年クラブ結成以来、富士山頂に案内版を設置したり、美化運動を続けてきましたが、CN20周年を機に田貫湖畔南東の道路沿い約1キロに渡り継続事業として150本のもみじを植栽し「田貫湖ふれあいまみじロード」と命名しました。毎年メンバー各々が家にある機材を持ち寄り枯れ木の植え替えや草刈り、更に湖周囲の清掃等の保全に努めて参りました。以来20数年、今ではこれらの木々も立派に成長し、春夏秋冬、新緑から紅葉へと富士山を背景にキャンプやジョギング、ヘラブナ釣り等に訪れる人々の安らぎと心を癒す観光スポットとして一翼を担っていると自負しております。

この事業と並行して2013年CN20周年の記念事業として、新たな環境保全アクティビティも始めました。世界文化遺産の構成遺産である浅間大社「湧玉池」を源流とする「神田川」の対岸道路に隣接し、市民が憩う市有地「花と食の元気広場」があります。

市の要請もあってこの土地の道路側、幅約1.5メートル、長さ約50メートルの花壇を造成しました。草花の為、毎年2回休日を返上し、スコップや草刈り等を持ち寄り、草取りを兼ね、葉牡丹やビオラ、パンジー等四季折々の草花約350株の植え替えを実施しております。メンバー全員が各々美しく咲き誇る花々と訪れる人々の喜ぶ姿を期待しながら、楽しく奉仕活動に取り組んでおります。

これからも私達は、芙蓉の峰という理念を持ちながらアクティビティに取り組んで参る所存であります。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

積善の家には必ず余慶あり

4 R 1 Z 下田 L C



2013年4月、下田ライオンズクラブCN50周年記念事業として、青少年育成基金「若獅子賞」を設立した。これは、下田LCの活動地域である、下田市・南伊豆町において、青少年の健全な育成に即した活動を行う団体もしくは個人を幅広く支援するためのものであり、総額500万円、2013年から2022年までの10か年で、各年寄贈の上限を50万円とした。

下田市立下田中学校吹奏楽部は、生徒が古くなり修理もできなくなった楽器を買い替えるために、自分たちで募金活動をしていました。ところが高額な楽器の購入額には届きませんでした。そんな話が、クラブのメンバーの耳に入りました。このままでは、歴史ある市内唯一の吹奏楽部の存続が危ぶまれる、そして何よりも、下田中学校吹奏楽部は日米の親善の目的で開催されている黒船祭をはじめ、市内の各行事に参加協力しており、この町の欠かせない大切な存在なのです。この件では、クラブ内で様々な意見が交わされました。

「若獅子賞」の規約である上限各年50万円に反している、特定の公立学校にやるのは不公平ではないか等々の真剣な議論。最終的には、「地域社会をはじめ自国において、また国際社会において責任ある一員として担うべき責務を、次代を担う世代に対し啓発し貢献する機会を集团的あるいは個人的に与え、次代の社会への奉仕に寄与すること」というLCの青少年育成の原点に立ち返り、楽器購入として100万円の寄贈を決定しました。

下田LCは、この地域が抱える問題・課題について考えさせられ、それに対して我々はどのように関わられるのかを学ぶ機会を与えられたように思います。

終わりに、下田中学校での寄贈式には、多数の下田LCメンバーが出席し、吹奏楽部の部員・OB・OGの方々による、心温まる、感謝の気持ちが込められた校歌の演奏で、私たちのアクティビティの本当の意義「奉仕」の大切さを経験できました。

特色ある例会又は事業実施クラブ紹介

SPECIAL EDITION

メガネリサイクル事業

4 R 2 Z 修善寺LC



伊豆市の修善寺地区は、人口約1万5千人程度、修善寺LCは会員30名の小さなクラブです。主な事業は青少年健全育成で、4つの小学校と1つの中学校で薬物乱用防止講座を開催し、伊豆箱根鉄道修善寺駅で街頭指導を行い、チャリティダンスパーティーで獲得した資金を青少年育成団体に寄贈することです。新規事業を増やし、会員増強に繋がなくても、(私は積極的に事業を展開し広く市民にアピールすることが新規会員を獲得する正しい方法だと考えています。)人的余裕がありません。そんな折、ライオン誌で三軒茶屋LCのメガネリサイクル記事に接しました。これなら、時間も、体も使わずに国際社会に奉仕ができ、回収ボックスを各所に設置することによって、クラブの認知度が上がり、新規会員の獲得もしやすくなると思い、私が会長の年度には、新規事業の一つに加える決心をしました。早速、市内でメガネ店を経営するL紀平に、事業の説明と次期献眼・献腎・献血の委員長就任をお願いし、快諾を得て、新年度

を発足させました。まず、三軒茶屋LCから事業の詳細を教えて頂き、この事業を支持していただいた4R LCIF・献眼・献腎・献血委員から、浜松ホストLCの情報も頂き、国際協会のホームページにアクセスして、ライオンズ四季報や奉仕団の映像を入手した所、メガネが目の不自由な人に手渡される映像が数多くあること、この事業は百周年記念奉仕チャレンジ事業の一つであることもわかり、回収箱を10個制作して、現在9カ所に設置しました。例会で事業の進捗状況の報告、国際協会のビデオの映写などを行うと、例会が活性化し、近隣の葦山LCからは、回収してストックしてあったメガネの共同搬出の申し入れがありました。今、継続に値する事業であるという強い手ごたえを感じている所です。協会誌や国際協会のホームページには新規事業のヒントが数多く存在します。新規事業で新規会員の獲得を！

We Serve!

事務局だより

INFORMATION

2015～2016年度第3回キャビネット会議報告



2015～2016年度第3回キャビネット会議が2月23日(火)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

1. 2015～2016年度キャビネット会計中間報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・三役セミナー開催日程等について
3. 第62回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・当日投票実施手順
・年次表彰規定確認
4. 同大会、前当日スケジュール分担・使用会場控室等について
5. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー立候補者承認と、次期キャビネット幹事・会計予定者について

キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。クラブ事務局かキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

3月～6月のキャビネットスケジュール

3/ 3(木)	薬物乱用防止教育認定講師・研修会
3/ 9(水)	第3回地区GMT・GLT会議
3/19(土)	第4回YCE委員会
3/19(土)～3/21(月)	夏季派遣青少年宿泊オリエンテーション
3/28(月)	第4回LCIF・献眼・献腎・献血委員会
3/29(火)	第4回青少年・薬物乱用防止・クエスト委員会
3/30(水)	第4回PR・L情報・IT委員会
4/ 4(月)	第62回地区年次大会第4回実行委員会
4/ 6(水)	3月末地区会計監査 第4回地区ガバナーチーム会議 年次表彰最終審査会議
4/13(水)	第62回地区年次大会記念チャリティゴルフ大会
4/19(火)	第4回キャビネット会議
5/14(土)	地区年次大会リハーサル
5/15(日)	第62回地区年次大会

2015年11月～2016年2月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2015.11.12	L 熊谷厚文	函南LC
2015.11.20	L 遠藤次郎	富士タカオカLC
2015.11.21	L 高倉信孝	浜北LC
2015.12. 4	L 高橋富美子	御殿場LC
2015.12.23	L 野木文夫	小山LC
2015.12.26	L 中村光雄	浜松葵LC
2015.12.26	L 櫻井一男	静岡岡LC
2016. 1.13	L 稲葉善一	下田LC
2016. 1.17	L 小栗清行	榛南LC
2016. 1.27	L 石原節子	磐田シニアLC
2016. 2. 7	L 増田義雄	静岡葵LC
2016. 2.13	L 高井幸信	浜松東LC
2016. 2.18	L 九川良子	富士宮芙蓉LC
2016. 2.20	L 鈴木勇治	焼津LC

地区誌表紙と裏表紙について

今年度の表紙、裏表紙共に「地域の歴史」です。



宝福寺 坂本龍馬飛翔の間(下田)

文久3年1月、脱藩の罪を背負った坂本龍馬は、師匠である勝海舟と第15代土佐藩主、山内容堂とのこの部屋での会談により、脱藩罪を許され、活躍するに至る。この床の間は、当時のまま残されており、龍馬を許してもらうため、下戸の海舟が酒を飲み干したとされる杯の実物も展示されている。因みに山内容堂の先祖は掛川藩主で、関ヶ原の戦功により土佐20万石を賜り幕末に至る。